

急医療など、地域連携の堅持と圏域内での機能分担及び広域的医療連携の強化に努めるとともに、市内医療機関との診療連携も積極的に進めます。

**病院経営** 外来及び人工透析の患者の安定確保と、在院日数及び入院患者数の維持を目標に、健全な経営に努めます。また、診療体制、委託業務並びに医療機器などの見直しや更新を含めた中長期的な経営方針の再構築に努めます。

**国民健康保険事業** 昨年度に引き続き特定健診を受診していない方を対象にアンケート調査を実施し、その結果を情報提供するとともに受診勧奨を行います。  
**高齢者福祉** 地域での見守り体制づくりに努めるほか、高齢者世帯等除雪費助成事業などを継続し、高齢者福祉施設とも連携を図りながら支援します。また、生きがい農園の整備に向け、場所や規模などについて検討します。  
**障がい者福祉** 障害者総合支援法と「第2次赤平市障がい者基本計画」及び「第4期障がい福祉計画」に基づき、地域生活支援事業などの各種障がい福祉サービスを実施するとともに、障害者差別解消法が本年4月から施行されるため、障がいのある方

に対する差別的禁止と合理的配慮について、より一層、適切に対応します。また、手話奉仕員が不足していることから、各種養成講座を実施します。

**保育所** 昨年度からの子ども・子育て支援新制度のスタートに伴い開所時間を拡充しておりありますが、特に時間外保育や一時保育の利用者数が増加傾向にあり、子育て世帯の就労との両立を実現するため支援を行うとともに、保育料についても、国の基準額の50%軽減を継続します。

**子育て支援センター** 今後も講座の開催や季節に合わせた行事を企画するなど、子育て家庭の育児力の向上を図るほか、特に発達支援の利用者が増加傾向にあることから、関係機関と連携を図りながら、適切な支援を行うよう努めます。

**児童館及び児童センター** 昨年度から開始した赤平児童館の開所時間の拡大を継続し、健全な遊び場の提供や子どもたちの交流を図るなど、地域の子育ての場となるよう運営します。

**ひとり親家庭への支援** 母子・父子自立支援員による相談業務などを通じて、仕事と子育てを両立しながら経済的に自立できるように、必要な指導・助言を行う

ほか、母子家庭等高等職業訓練促進給付金事業及び母子家庭自立支援教育訓練給付金を継続し、早期に自立した生活を実現できるように支援します。

**地域防災** 防災備蓄品などを計画的に整備し、本年度は文京地区を対象として防災訓練を実施するほか、災害時用ポータブル発電機の購入、ハザードマップの増刷、さらには、本年度中に空知川の浸水想定区域が発表される予定のため全市版と地域版をまとめ、各種災害の情報を統合した防災マップを平成29年度に全面改訂するための準備作業を進めます。また、昭和56年に建設された市庁舎は、災害対策本部など、防災拠点施設としての役割が求められることから、耐震診断を実施します。

**消防・救急救助** より一層、職員研修や消防団員確保に努め、消防力の強化を図ります。



## 大地に根ざしたたくましい産業をつりましよう

**産業振興** 設備投資や雇用拡大を図る企業に対して、企業振興促進条例に基づく支援や北海道産炭地振興センターの新産業創造等事業を活用し助成を行います。また、新製品開発などを支援する「チャレンジ・アレンジ産業振興奨励金」を継続するほか、赤平市産業振興企業協議会の主体による「産業振興人財育成事業」に対する支援を継続します。さらに、商工会議所、農業協同組合並びに産業振興企業協議会と連携を図りながら、「産業フェスティバル」を開催します。

**特産品の推進** 農業や商業の関係団体で組織する赤平市特産品推進協議会において、道内外へのイベントや物産展へ出展するなど、さらなるPRや販路拡大などに向け、引き続き支援します。

**商業** 空き店舗・空き地の現地調査結果に基づくマップを活用し、商店街振興対策協議会を中心として、市街地活性化に向けた協議を進めます。空き店舗については、チャレンジショップとして開設し、商店街通信の発行を継続して市内外に情報発信を行います。また、店舗近代化促進

事業補助金を継続するとともに、商店街を美化する方法について検討します。さらに、スーパープレミアム付商品券発行助成を継続します。

**農業** 農作業の効率化と品質向上のため、ほ場整備測量調査設計を行います。また、中山間地域等直接支払事業交付金を活用するほか、多面的支払制度や環境保全型農業直接支払交付金を活用し、支援します。さらに、農業後継者サポート事業を継続するほか、ベストライズ赤平並びに赤平市農村女性協議会に対する組織育成事業として支援し、地元農産物や加工品を市内外にPR、販売を行います。

**林業** 森林環境保全整備事業や未来につながる森づくり推進事業並びに分収造林事業などを計画的に推進します。

**観光** エルム高原施設について、手ぶらキャンプや謎解きゲーム、散策路の活用など、効果的なソフト事業を推進するとともに、流政之氏の彫刻作品群となる彫刻公園SAKIYAMAとしてPRします。さらに、昨年度に引き続き、「エルム高原祭り」を開催します。また、「らんフェスタ赤平」「あかびら火まつり」など、市民でつくり上げるイベントと

して、これまでの伝統を継承しつつ、より一層、魅力ある個性豊かなイベントの充実に努めます。「市民花火大会」は、本年度も5,000発の花火を打ち上げていただくため、赤平観光協会への支援を継続します。

### ゆとりと潤いのある

#### 快適な生活を支えましょう

**公的住宅** 福栄地区の改良住宅建替事業については、10号棟1棟8戸の建設及び平成29年度の11号棟建設に向けた実施設計を行います。茂尻第一団地の公営住宅建替事業については、全体計画の4棟40戸の建設が完了し、本年度は、新春日団地並びに春日第一団地の12棟36戸の除却を実施します。また、新規事業として、豊丘町の吉野団地の建て替えに向けた基本設計を行います。**既設の公的住宅** 計画的な改修による長寿命化改善事業として、青葉団地2棟の外壁及び屋上防水と桜木団地・元町東団地・新光西団地の屋根改善を行います。**民間住宅** 住宅改修費用などの一部を助成する「あんしん住宅助成事業」は昨年度を最終年としておりましたが、再度これまでの事業成果を検証した結果、さらに平成30年度までの3年間

延長します。

#### 移住定住促進事業 中古住宅の

賃貸・売買の物件情報となる「住みかエール事業」や市外の方に赤平での暮らしを実際に体験していただくための「赤平おためし暮らし」を継続するほか、北海道移住促進協議会を通じて、赤平や宅地分譲などの情報、助成制度を盛り込んだパンフレットを活用し、道外へもPRします。**市道** 歩道改良を含めた文京学園通朝陽台5号小路、西文1条通、曙南5号通の改良舗装工事並びにやすらい通排水設備工事を実施します。

**橋りょう** 新成大橋の補修工事を行い、また、道路法改正により義務化された近接目視調査について、43橋すべてで実施します。**上水道** 未収金対策として、悪質な滞納者に対し、給水停止などの措置を執り、その回収に努めます。

**下水道** 計画的な整備・保全を行うとともに、未水洗化世帯の解消に努めます。一方では、公共下水道事業計画区域外の地域などにおける住宅に対して、合併処理浄化槽設置整備事業補助金を継続します。

**公園** 「公園施設長寿命化計画」を基本に、桜木町公園、翠光苑、



赤平公園、宮下公園の遊戯・休憩・管理施設を整備します。

**環境衛生** ごみ減量化対策として、適切な分別方法などを周知するほか、町内会などに対して新聞などの自主的な回収に対する助成を継続します。また、飲用井戸利用者の負担軽減などについて検討します。

**雪対策** 計画的な除排雪対策に努めるとともに、除雪マナーの周知に努めます。また、効率的な除排雪体制を維持するため、除雪ドーサを更新します。

#### 人と人が語り合い行動できる 地域づくりを進めましょう

**市民参加型のまちづくり** 引き続き「まちづくり講演会」を開催し、まちづくりへの参加意欲を高めます。また、情報共有については、「定期的な住民懇談会」「こんばんは市長室」「市長がおじゃまします」「子どもまちづくり探

検隊」を継続し、幅広い市民の声をまちづくりに反映します。さらに、市ホームページでは動画によって、まちの情報をお知らせするとともに、引き続き、地域おこし協力隊員により、市内外に赤平の魅力を発信します。

**地域コミュニティ活動** 「地域コミュニティ活動推進事業補助金」「町内会街路防犯灯維持管理事業交付金」によって町内会を支援するほか、地域における共通課題を解決するため、赤平市町内会連合会の活動を支援します。

**まちなか里親制度** 市民ボランティアにより道路や公園などの美化活動に取り組んでいた、だいており、今後も登録団体の増加に向け努力します。

**赤平市ふるさとガンバレ応援寄附金** 効果的な行財政の運営と、地元特産品を活用した地域経済の発展のため、寄附金の返礼品については、新たな事業者や返礼品を増やすなど、さらなる推進を図ります。

**公金のコンビニ収納** 市税などの公金について、コンビニエンス・ストアにおける収納業務が開始されるため、市ホームページなどを活用しながら、幅広く周知します。

#### くむすび

本市の最重要課題となる人口減少対策に向けた重点施策がスタートいたしますが、特に、赤平市ごと・ひと・まち創生総合戦略につきましては、市民並びに企業者の皆様と議会、行政が一緒になって取り組まなければ成果をなし得ることはできません。総合戦略の成果は、地元に住む皆様自身が、赤平に住んでいて良かったと思えるまちをつくり、そして、Uターンや市外から人を呼び込むことに繋がります。本市には、最も重要とされる人の力と地域資源があります。こうした財産を十分にいかし、まちの魅力を発信して行きます。将来を担う子ども達に希望を与えるのは、我々大人の責任であり、総合計画の将来像が示す「あふれる笑顔 輝く未来を創造するまち」に向かって、チャレンジ精神を持って、赤平市の未来を切り開くため邁進して参ります。引き続き、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。平成28年度市政執行方針とさせていただきます。

市政執行方針全文につきましては、市ホームページをご覧ください。